



研修医日記

作成者：福田直幸（2年次）

研修医の期間も残り 8 ヶ月ほどとなってしまう時間の過ぎる早さに驚いています。去年の2年目の先輩方のように頼れる2年目になれている自信がなく、もっと勉強しなければと感じております。

6月は産婦人科でお世話になり、7月は泌尿器科でお世話になっております。外来・病棟・手術にと先生方やスタッフの方々は大変忙しいのですが、面倒見がよく、温かく指導していただいているので大変感謝しています。

産婦人科では、一般的なお産にも立ち会う機会があり、感動をおすそ分けしてもらいました。学生時代の大学病院での実習時のお産や、当院小児科研修中の小児科立会の元でのお産ではリスクの伴う出産であったので、出生直後すぐにお祝いできる余裕のない状況のお産でした。母子ともにリスクなく、生まれてすぐにお祝いできる余裕のある出産に立ち会うことができたのが、今回の産婦人科研修が初めてで、お母さんの泣きながら喜ぶ顔が印象的でした。

7月の泌尿器科では、多くの手技も指導していただき、非常に密度の濃い充実した研修をさせていただいております。

まだまだ勉強不足で、頭も身体も動かず業務への貢献が少ないと感じているので、残りの研修期間を大切に過ごして精進しなければと感じております。

ここで直近の近況なのですが、感染性胃腸炎になってしまいました。下痢症状が辛いですが、ドラッグストアの市販薬の種類が多さと効き目の良さに驚きました。

最近気温も高く、食中毒に注意が必要な時期だと思います。胃腸炎になり体調を崩した私が言うのもなんですが、食材の賞味期限や保存方法に注意し、しっかり火を通し、手指衛生含め、清潔には気をつけ、脱水などにも注意し、みなさんも心身ご自愛くださいませ。

※日記の作成日と当ページへの掲載日は異なる場合があります。